学校番号	3005

令和２年度　工業科（グラフィックデザイン系）

教科	工業	科目	デザイン製図	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	デザイン製図（実教出版）						
副教材等	自作プリント資料						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

ロゴマークやページデザイン、ポスターなどの印刷物の作成や、Web サイトのデザイン、イラストレーションといった幅広い分野に活用されるドロー系ソフトを用いた表現・表示の技法及び操作について学習します。

２　学習の到達目標

・ドロー系ソフトの基本的・応用的操作方法を理解する。
・複数の製作手順の中から、短時間で美しく仕上がる手順を見つけることができる。
・授業態度・課題提出状況などを評価の対象とする。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	デザイン製図に関する課題について関心をもち、その改善･向上をめざして主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けている。	デザイン製図に関する諸課題の解決をめざして思考を深め、基礎的･基本的な知識と技術を基に、技術者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。	デザイン製図に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、環境に配慮し、ものづくりを合理的に計画し、その技術を適切に活用している。	デザイン製図に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、現代社会におけるＤＴＰの意義や役割を理解している。
評価方法	学習状況の観察 ワークシートの記述 制作品 レポート、発表 自己評価･相互評価等	学習状況の観察 ワークシートの記述 制作品 レポート、発表 自己評価・相互評価等	学習状況の観察 制作品 観察記録表 レポート自己評価・相互評価　等	学習状況の観察 ワークシートの記述 制作品 レポート、発表 自己評価・相互評価等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

ローテーション	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	オブジェクトの描画と編集	・ドキュメント設定、環境設定 ・オブジェクトの作成 ・レイアウトの補助機能 ・パスの描画と編集 ・レイヤー	○ ○ ○	◎ ◎ ○ ○	 ◎ ◎	 ○ ○	a: 視覚表現に関心をもち、よりよく伝えようとする意欲・姿勢を有している。 b:各ツールの機能を理解し、正確な描画ができる。 c:指示通りの作業を正確かつ合理的に行うことができる。 d:イラストレーターの基本的な知識を身につけ、伝わるかたちや伝わる配色を理解している。	学習状況の観察 ワークシートの記述 制作品 レポート、発表 自己評価・相互評価 等
後期	DTP／Webデザインの基礎	・テキスト入力、編集 ・画像編集 ・グラフの作成 ・データの入出力 ・アクションと自動処理	○ ○	 ○ ○	◎ ○ ◎	○ ○ ○	a: 伝えること、伝わることに関心をもち、よりよく伝えようとする意欲・姿勢を有している。 b:デザインコンセプトや表現の目的に応じて適切な機能を選択し、表現できる。 c: ＤＴＰのルールに則った表現ができる。 d:ＤＴＰ／Ｗｅｂデザインに関する基本的な知識を身につけ、ＤＴＰの役割を理解している。	学習状況の観察 ワークシートの記述 制作品 レポート、発表 自己評価・相互評価 等

表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c:技能　　d:知識・理解

※ 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。◎は、その中でも特に重点的に評価を行う観点である。